

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公開番号】特開2016-88263(P2016-88263A)

【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-031

【出願番号】特願2014-224474(P2014-224474)

【国際特許分類】

B 6 0 H 1/24 (2006.01)

E 0 5 B 49/00 (2006.01)

B 6 0 H 1/32 (2006.01)

B 6 0 H 1/00 (2006.01)

B 6 0 R 25/24 (2013.01)

【F I】

B 6 0 H 1/24 6 6 1 C

B 6 0 H 1/24 6 6 1 Z

E 0 5 B 49/00 K

B 6 0 H 1/32 6 2 6 G

B 6 0 H 1/00 1 0 3 Z

B 6 0 R 25/24

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月5日(2016.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両(10)の室内(14)が高温に放置された状況で、前記車両(10)用の空調装置(18)の送風機(18a)を作動させて、前記室内(14)の強制換気を行う強制換気装置であって、

ユーザによって携帯されるスマートエントリーシステム(110)用の携帯機(112)と、

前記車両(10)に設けられて、前記携帯機(112)に対する呼掛け信号を電波送信して、前記呼掛け信号に電波応答する前記携帯機(112)からの応答信号を照合することで、前記車両(10)のドア(15)の施錠あるいは解錠を行う制御部(111c)と

、

前記ドア(15)の窓(16)を開閉する開閉機構(17)と、を備え、

前記制御部(111c)は、前記ユーザによる前記強制換気のためのモード設定が予め成されており、前記ユーザと共に前記携帯機(112)が、前記車両(10)に近づいて、前記応答信号によって前記携帯機(112)の検知を可能とする所定の検知エリアに入り、前記応答信号の照合に成功すると、前記車両(10)のイグニッションスイッチ(12)をオンさせて、前記開閉機構(17)によって前記窓(16)を開き、前記空調装置(18)に対して前記送風機(18a)の作動を指示すると共に、前記呼掛け信号を前記車両(10)の右側外部および左側外部に対して交互に送信することで、前記ユーザが前記右側外部あるいは前記左側外部のいずれ側から近づいているかを把握可能としており、

開かれる前記窓(16)は、前記ユーザが近づいている側の窓であることを特徴とする

強制換気装置。

【請求項 2】

開かれる前記窓（16）は、前記車両（10）の後席側の窓（16b）であることを特徴とする請求項 1 に記載の強制換気装置。

【請求項 3】

前記送風機（18a）の作動時間を計時するタイマー（120）を備えており、

前記制御部（111c）は、前記タイマー（120）によって計時される前記作動時間が、予め定めた所定時間を経過すると、開かれた前記窓（16）を閉じ、前記送風機（18a）を停止させ、前記イグニッションスイッチ（12）をオフにすることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の強制換気装置。

【請求項 4】

前記制御部（111c）は、前記タイマー（120）によって計時される前記作動時間が、前記所定時間に満たないときに、前記ユーザによって前記ドア（15）の解錠を要求する操作があると、前記送風機（18a）を作動させたまま、前記ドア（15）の解錠を行うことを特徴とする請求項 3 に記載の強制換気装置。

【請求項 5】

前記制御部（111c）は、前記タイマー（120）によって計時される前記作動時間が、前記所定時間を経過しても、前記室内（14）に前記携帯機（112）を検知しないと、前記ドア（15）を施錠状態にすることを特徴とする請求項 3 または請求項 4 に記載の強制換気装置。

【請求項 6】

前記送風機（18a）の作動時間を計時するタイマー（120）を備えており、

前記制御部（111c）は、前記タイマー（120）によって計時される前記作動時間が、予め定めた所定時間を経過し、前記室内（14）に前記携帯機（112）を検知すると、前記窓（16）を閉じ、前記送風機（18a）を停止させ、前記車両（10）の走行用駆動源（11）を始動させることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の強制換気装置。

【請求項 7】

車両（10）の室内（14）が高温に放置された状況で、前記車両（10）用の空調装置（18）の送風機（18a）を作動させて、前記室内（14）の強制換気を行う強制換気装置であって、

ユーザによって携帯されるスマートエントリーシステム（110）用の携帯機（112）と、

前記車両（10）に設けられて、前記携帯機（112）に対する呼掛け信号を電波送信して、前記呼掛け信号に電波応答する前記携帯機（112）からの応答信号を照合することで、前記車両（10）のドア（15）の施錠あるいは解錠を行う制御部（111c）と

前記ドア（15）の窓（16）を開閉する開閉機構（17）と、

前記送風機（18a）の作動時間を計時するタイマー（120）と、を備え、

前記制御部（111c）は、前記ユーザによる前記強制換気のためのモード設定が予め成されており、前記ユーザと共に前記携帯機（112）が、前記車両（10）に近づいて、前記応答信号によって前記携帯機（112）の検知を可能とする所定の検知エリアに入り、前記応答信号の照合に成功すると、前記車両（10）のイグニッションスイッチ（12）をオンさせて、前記開閉機構（17）によって前記窓（16）を開き、前記空調装置（18）に対して前記送風機（18a）の作動を指示すると共に、前記タイマー（120）によって計時される前記作動時間が、予め定めた所定時間を経過した後に、前記室内（14）に前記携帯機（112）を検知した場合は、開かれた前記窓（16）を閉じ、前記送風機（18a）を停止させ、前記イグニッションスイッチ（12）をオフにし、一方、前記室内（14）に前記携帯機（112）を検知しない場合は、前記窓（16）を閉じ、前記送風機（18a）を停止させ、前記ドアを施錠状態にし、前記イグニッションスイッ

チ（１２）をオフにすることを特徴とする強制換気装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明では、車両（１０）の室内（１４）が高温に放置された状況で、車両（１０）用の空調装置（１８）の送風機（１８ａ）を作動させて、室内（１４）の強制換気を行う強制換気装置であって、

ユーザによって携帯されるスマートエントリーシステム（１１０）用の携帯機（１１２）と、

車両（１０）に設けられて、携帯機（１１２）に対する呼掛け信号を電波送信して、呼掛け信号に電波応答する携帯機（１１２）からの応答信号を照合することで、車両（１０）のドア（１５）の施錠あるいは解錠を行う制御部（１１１ｃ）と、

ドア（１５）の窓（１６）を開閉する開閉機構（１７）と、を備え、

制御部（１１１ｃ）は、ユーザによる強制換気のためのモード設定が予め成されており、ユーザと共に携帯機（１１２）が、車両（１０）に近づいて、応答信号によって携帯機（１１２）の検知を可能とする所定の検知エリアに入り、応答信号の照合に成功すると、車両（１０）のイグニッションスイッチ（１２）をオンさせて、開閉機構（１７）によって窓（１６）を開き、空調装置（１８）に対して送風機（１８ａ）の作動を指示すると共に、呼掛け信号を車両（１０）の右側外部および左側外部に対して交互に送信することで、ユーザが右側外部あるいは左側外部のいずれ側から近づいているかを把握可能としており、

開かれる窓（１６）は、ユーザが近づいている側の窓であることを特徴としている。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

また、強制換気を実施するにあたって、窓（１６）が開かれることで、効果的な換気が行われる。このとき、ユーザは、車両（１０）に対して検知エリア内にいることになり、窓（１６）が開かれた状態であっても、ユーザの眼前で実施される強制換気となるので、セキュリティ上も安心のできるものとなる。

更に、強制換気を実施するにあたって、ユーザが近づいている側の窓が開かれるので、ユーザは、換気が実施されることを眼前で確認することができる。また、開かれる窓側に第３者が近づいて来たとしても、第３者を眼前で認識し、迅速な対応が可能となるので、セキュリティ上の安心度を増すことができる。